



# 女子高生に 殺されたい

田中圭 / 南沙良 河合優実 莉子 茅島みずき 細田佳央太 / 加藤菜津 久保乃々花 キンタカオ / 大島優子

原作: 古屋兎丸 (女子高生に殺されたい) (朝日新聞出版) 監督: 城定秀夫 音楽: 世武裕子  
制作: 鳥羽航二郎 エグゼクティブプロデューサー: 福澤敏夫 企画: フロニエール・谷川 監修: 黒原祐一 ラインプロデューサー: 藤松一 撮影: 相馬大輔 照明: 佐藤浩太 録音: 竹内久史 美術: 黒羽陽子 美術プロデューサー: 鎌田亮  
ヘアメイク: 内城千栄子 衣装: 加藤みゆき 編集: 相良直一 音響効果: 井上奈津子 キャスティング: 細川久美子 助監督: 土岐洋介 制作担当: 天野祐亮 宣伝プロデューサー: 堀田大輔 制作プロダクション: タブ 企画・配給: 日活 ©2022日活

4.1 [Fri]

高校教師・東山春人。9年間に及ぶ前代未聞の“自分”殺害計画。



禁断の扉をひらく覚悟はありますか？

# あなた、あなたの常識が崩壊する。

## 究極のアンモラル・スリラー

僕は殺されるために、

この学校に赴任してきた。

緻密な心理描写  
予測不能のサスペンス  
刺激的な映像世界

『ライチ☆光クラブ』『帝一の國』などの鬼才・古屋兎丸の画業20周年記念作品として発表され、その衝撃的な内容で話題を呼んだ同名コミックが、遂に禁断の映画化。主人公・東山春人を演じるのは田中圭。一見、常識的な人間でありながら、自らに潜む衝動を抑えられない男を不気味さと色気を併せ持つ狂気のキャラクターとして体現した。春人を囲む高校生徒役には南沙良、河合優実、莉子、茅島みずき、細田佳央太と注目の若手俳優のコラボレーションが実現。さらに共演に大島優子と実力派が集う。監督は、2020年公開の『性の劇薬』『アルプススタンドのはしの方』で立て続けにヒットを飛ばし、その後も映画ファンの注目を集め続けている城定秀夫。自身の脚本で原作を映画的に大胆にアレンジし、禍々しいほどの映像美と上質なストーリーテリングで、衝撃の怪作を誕生させた。

東山春人が描く、<sup>シナリオ</sup>狂気と魅惑の完全犯罪。  
彼が見つけた唯一無二の女子高生とは—<sup>ヒロイン</sup>

女子高生に殺されたいがために高校教師になった男・東山春人(田中圭)。人気教師として日常を送りながらも“理想的な殺され方”の実現のため、9年間も密かに綿密に、“これしかない完璧な計画”を練ってきた。彼の理想の条件は二つ。「完全犯罪であること」「全力で殺されること」。条件を満たす唯一無二の女子高生を標的に、練り上げたシナリオに沿って、真帆(南沙良)、あおい(河合優実)、京子(莉子)、愛佳(茅島みずき)というタイプの異なる4人にアプローチしていく……。

「待ってたんだよ。君が17歳になるのを——」

主演 | 田中圭 | 監督 | 城定秀夫 | 原作 | 古屋兎丸  
『アルプススタンドのはしの方』  
『帝一の國』  
Twitter: @joshikoro\_movie | joshikoro.com

4.1 [Fri]  
Roadshow

ムビチケ前売券(オンライン)  
購入者限定  
キャンペーン  
実施!



劇場窓口でお求めの方に  
“ムビチケカードケース”プレゼント  
※数量限定、なくなり次第終了  
ムビチケ前売券 ¥1,500(税込)  
発売中! ※一部劇場を除く

